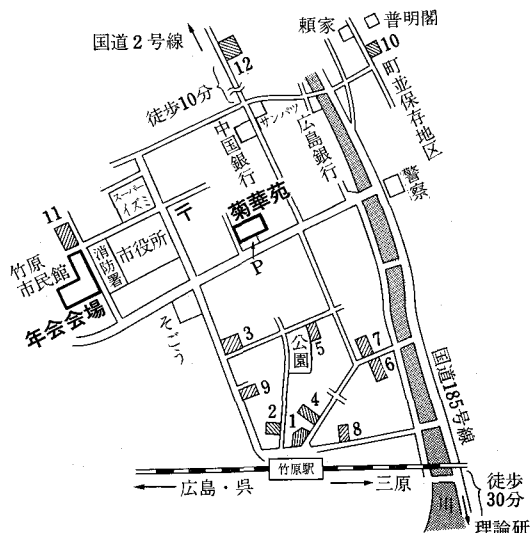


日本天文学会 1984 年秋季年会 プログラム

月 日 昭和59年10月17日(水)~19日(金)
 場 所 広島県竹原市 市民館(下図参照) 会期中電話 08462 (2) 6737
 〒725 広島県竹原市竹原町北堀 1567

		午前				午後				講演番号		
		9時	10	11	12	1	2	3	4		5	6
月 日	会場	分 野				分 野						
10月17日 (水)	A	銀 河・宇宙論				内地留学 奨学金選 考委員会	銀 河・宇 宙 論				A 1~A34	
	B	星間物質・星 雲					星間物質・星雲, 恒星				B 1~B34	
10月18日 (木)	A	銀河系・恒星系 位置天文				写 真 評議員会	位置天文, 天体力学 太 陽 系				懇 親 会	A35~A67
	B	恒 星					恒 星, 太 陽					B35~B68
10月19日 (金)	A	太 陽 系 観測機器・情報処理				理 事 会	観測機器 情報処理				A68~A92	
	B	太陽, 高エネルギー 天 文 学					高エネルギー 天 文 学				B69~B95	

- ☆ 会場 A は1階大ホール, 会場 B は2階中会議室で併行して年会を行います。
- ☆ 講演時間は1講演8分間です。講演者は割当時間を厳守して下さい。
- ☆ スライドは透視した時に正しい上下関係になるようにして, その手前側上方に講演番号と氏名, 映写順序番号を書き, 下縁に5mm位の幅の赤線をつけて下さい。ビラは用いず, スライドは講演時間内に終了できる枚数にして下さい。オーバーヘッドプロジェクターも用意しますので御利用下さい。
- ☆ 今回は講演開始が午前9時15分で, 終了は午後5時30分を予定しています。但し10月19日は午後4時の予定です。
- ☆ 17日, 18日, 19日の午前の講演終了後, 内地留学奨学金選考委員会, 評議員会, 理事会を行います。
- ☆ 記念写真撮影は18日午前の講演終了後評議員会開催前に行います。
- ☆ 懇親会は, 18日の午後の講演終了後菊華苑(下図参照)で行なわれます。



(交通) 竹原駅から竹原市民館まで徒歩 10 分。

図中のナンバーは宿舎の所在地で, 宿舎について(宿舎名・宿泊費・電話等)は「天文月報1984年8月号」学会だより(196頁)を参照されたし。

会場 A (1階大ホール)

第1日 10月17日(水) 午前9時15分より 会場 A

- A 1 一様等方宇宙における量子場の反作用効果: 東 孝博(獨協大教養), 和田純夫(東大教養)
 A 2 Kaluza-Klein 型宇宙モデルの振動的振舞について: 石原秀樹, 冨松 彰(広大理論研)
 A 3 インフレーション宇宙におけるバリオン数生成: 佐藤伸明, 小玉英雄, 佐藤勝彦(東大理)
 A 4 Rubakov 過程で燃える星: 伊沢瑞夫(京大理)
 A 5 宇宙のレプトン縮退の可能性について: 寺沢信雄, 佐藤勝彦(東大理)
 A 6 Modified Brans-Dicke 宇宙での元素合成: 福井尚生(獨協大教養), 荒井賢三(熊本大理), 橋本正章(早大理工)
 A 7 膨張宇宙における密度の相関と発散の次元: 中村卓史(京大理)
- (休憩)
- A 8 Formation of Subgalactic Objects in a Neutrino-Dominated Universe: 梅村雅之, 池内 了(北大理)
 A 9 膨張しているバンケーキの重力不安定性と銀河形成: 富阪幸治, 池内 了(北大理)
 A10 局所超銀河団と銀河回転の起源: 田辺健彦(広大理論研)
 A11 銀河団の進化の無衝突シミュレーション: 野口正史(東京天文台)
 A12 銀河ハローは温かい残存粒子か?: 藤原隆男(京大理)
 A13 Phase Change Model of Galaxies: 田中 裕(京大理), 池内 了, 羽部朝男(北大理)
 A14 銀河に於ける散逸構造——ダイナミックスの影響: 野桜俊也, 池内 了(北大理)

第1日 10月17日(水) 午後1時30分より 会場 A

- A15 質量を放出する球状銀河の構造と進化: 中村明子, 土佐 誠(東北大理)
 A16 Gas Motion in Triaxial Potential. III: 羽部朝男, 池内 了(北大理)
 A17 巨大分子雲系の N 体数値実験: 福長正考, 土佐 誠(東北大理)
 A18 T-S 時空におけるアクリーションディスク: 桑原富美子, 石塚俊久, 横沢正芳(茨大理)
 A19 相対論的降着円盤中の音波の伝播: 石塚俊久, 高橋真聡, 横沢正芳(茨大理)
 A20 相対論的磁気流体波の伝播: 横沢正芳(茨大理)
 A21 衝撃波による圧縮層の重力不安定性: 佐場野 裕, 土佐 誠(東北大理)
 A22 zero-metal star の IMF: 吉井 謙(東京天文台), 斉尾英行(東大理)
 A23 近赤外背景放射光のロケット観測: 松本敏雄, 秋葉 誠, 村上 浩(名大理)
 A24 $\log N \sim \log S$ の計算: 会津 晃(立教大), 田原博人, 加藤龍司(宇都宮大教育), 井上 允(東京天文台野辺山)
- (休憩)
- A25 活動的銀河におけるバースト現象の解析: 加藤龍司, 田原博人(宇都宮大教育), 井上 允(東京天文台野辺山)
 A26 エシエル分光器による活動銀河の観測: 家 正則(ESO/東京天文台)
 A27 マルカリアン 421 の可視域観測: 菊池 仙, 三上良孝(東京天文台), W. Z. Wisniewski (Lunar & Planet. Lab.)
 A28 MRK 325 における連鎖的スター・バースト: 谷口義明(東北大理)
 A29 OJ 287: 1983 バースト以後: 三上良孝, 菊池 仙, 柴崎 肇, 山口達二郎, 飯塚吉三, 沖田喜一(東京天文台)
 A30 M51 における渦状腕構造と星形成時間: 木村俊哉, 土佐 誠(東北大理)
 A31 M31, アーム領域での CO 観測: 市川 隆, 仲野 誠, 田中 裕, 齊藤 衛(京大理), 中井直正(東大理), 祖父江義明, 海部宣男(東京天文台野辺山)
 A32 M82 中心部の CO 観測: 中井直正, 林 正彦(東大理), 佐々木 実(京大理), 半田利弘(東大理), 祖父江義明, 長谷川哲夫(東京天文台野辺山)
 A33 NGC 1068 の ^{12}CO ($J=1-0$) の観測: 杉谷光司, 福井康雄, 岩田隆浩(名大理), 兼古 昇, 富阪幸治(北大理), 海部宣男, 稲谷順司(東京天文台野辺山), H. S. Liszt (NRAO)
 A34 銀河の構造パラメーターへの観測的制約: 渡辺正明, 小平桂一, 岡村定矩(東京天文台)

会場 B (2階中会議室)

第1日 10月17日(水) 午前9時15分より 会場 B

- B 1 Comoving-Frame Transfer Equation II—Relativistic Case: 森田一彦, 兼古 昇 (北大理)
 B 2 Carbon Chain の電子スペクトル: 村上明德, 大野公男 (北大理)
 B 3 プラズマジェットによる微粒子生成実験 II: 田辺俊彦 (東大理)
 B 4 Ori A 領域の低温ダストグレイン: 赤羽賢司 (東京天文台野辺山)
 B 5 M104 の偏光観測の解釈——bulge における dust——: 松村雅文 (東北大理), 関 宗蔵 (東北大教養)
 B 6 パーナード・ループ周辺のスターカウント: 間世田 浩 (東大理), 磯部琇三, 西野洋平, 佐々木五郎 (東京天文台)
 B 7 小型 H II 領域の表面測光 III: 吉田重臣, 仲野 誠, 小暮智一, 佐々木敏由紀, S. D. Wiramihardja (京大理), 水野 舜 (金沢工大), 作花一志 (京都コンピューター学院)

(休 憩)

- B 8 暗黒星雲 kh 141 における低質量星の形成: 大谷 浩, 富田良雄 (京大理)
 B 9 L134 の速度構造について: 大橋洋二 (名大理)
 B 10 S 235 B 領域の分子輝線観測 II: 仲野 誠, 吉田重臣 (京大理)
 B 11 NGC 2071 の微細構造: 岩田隆浩, 福井康雄, 高羽 浩 (名大理), 鷹野敏明 (ケルン大), 長谷川哲夫 (東京天文台野辺山)
 B 12 u45379 による TMC1 のマッピング: 鈴木博子, 海部宣男 (東京天文台野辺山), 大石雅寿 (東大理)
 B 13 S 140 分子雲の観測: 林 正彦 (東大理), 面高俊宏 (鹿大教養), 長谷川哲夫 (東京天文台野辺山), 鈴木左絵子 (東大理), 宮脇亮介 (八王子工高)
 B 14 Cep A における cluster の形成: 鈴木左絵子 (東大理), 海部宣言男, 長谷川哲夫 (東京天文台野辺山)

第1日 10月17日(水) 午後1時30分より 会場 B

- B 15 Orion KL における星間分子の励起 (II): 大石雅寿 (東大理), 海部宣男 (東京天文台野辺山)
 B 16 ORION-KL をとり巻くガス円盤: 長谷川哲夫, 海部宣男, 森本雅樹, 稲谷順司 (東京天文台野辺山)
 B 17 GL 490 の ^{12}CO , ^{13}CO 観測 (II): 巨大分子ジェット?: 川辺良平, 水野 亮, 小川英夫, 福井康雄, 藤本光昭 (名大理)
 B 18 原始星円盤と双極分子流の形成: 海部宣男, 長谷川哲夫 (東京天文台野辺山), 鈴木左絵子, 大石雅寿 (東大理)
 B 19 星形成域双極流の磁気流体加速機構: 内田 豊 (東京天文台), 柴田一成 (愛知教育大)
 B 20 等温磁気プラズマ柱の重力不安定: 長沢幹夫 (京大理)
 B 21 無限一様等温平板雲の分裂: 観山正見 (京大理), 成田真二 (同志社大工), 林 忠四郎 (京大)
 B 22 収縮する等温ガス雲の特性: 成田真二 (同志社大工), 観山正見 (京大理), 林 忠四郎 (京大)
 B 23 Vega の dust cloud と惑星形成: 中野武宣 (京大理)
 B 24 軸対称分子雲と恒星風の相互作用: 花見仁史, 坂下志郎 (北大理)

(休 憩)

- B 25 いて座における新星状天体の検出: 香西洋樹 (東京天文台), 小倉勝男 (国学院大), 本田 実 (倉敷天文台), 和久田 実 (中日新聞)
 B 26 非局所対流理論での Li, Be 問題: 近藤正明 (専修大), 海野和二郎 (東大理)
 B 27 炭素星スペクトル分類の物理的基礎: 辻 隆 (東京天文台)
 B 28 恒星大気における鉄の非 LTE 効果: 竹田洋一 (東京天文台)
 B 29 Be 星 (48 Lib.) の外層大気構造について: 門 正博 (京大理)
 B 30 近接連星 Y Hyi の測光観測と解析: 山崎篤磨 (東大教養), H. W. Duerbeck (Bonn 大学)
 B 31 接触連星系の接触条件と成分星の半径: 中村泰久 (都立駒場高), 中村誠臣 (東北大理)
 B 32 ϵ Aur の分光観測 (III): 斎藤 衛 (京大理), 川畑周作 (京都学園大), 西城恵一 (国立科学博物館), 佐藤英男 (東京天文台)
 B 33 駈者座 ϵ 星の 1982~84 食の三色測光: 大木俊夫, 吉成浩子, 関谷育雄, 平山勝則, 坂井美晃 (福島大教育)
 B 34 A型特異星の“Rapid Oscillations”について: 柴橋博資, 齋尾英行 (東大理)

会場 A (1階大ホール)

第2日 10月18日(木) 午前9時15分より 会場 A

- A35 回転ポリトロープ円筒のモード解析(II): 石橋史朗(東大理), 安藤裕康(東京天文台)
 A36 回転磁気質量吸着と宇宙ジェット. II: 柴田一成(愛知教育大), 内田 豊(東京天文台)
 A37 自己重力多体系のエルゴード性について: 種埜純一郎(東大理), 杉本大一郎(東大教養)
 A38 自己重力多体系の進化について: 杉本大一郎(東大教養)
 A39 有限半径の星から成る球状星団の進化: 稲垣省五(京大理), Piet Hut(プリンストン高等研究所)
 A40 炭素星の分類と空間分布: 前原英夫(東京天文台)
 A41 銀河系北極の近赤外面輝度: 村上 浩, 秋葉 誠, 松本敏雄(名大理)
 (休 憩)
 A42 北銀極域の星数えと銀河系モデル: 石田憲一, 吉井 讓(東京天文台), Stobie R. S., MacGillivray H. T.
 (Royal Observatory, Edinburgh)
 A43 球状星団 M15 の光度関数 I. 主系列転向点から準巨星まで: 下田眞弘(東京学芸大), 福岡 孝(松戸高
 校), 中島小津江(東京学芸大)
 A44 GALACTIC BOW-SHOCK?: 祖父江義明(東京天文台野辺山)
 A45 地球自転加速度の decade fluctuation について: 関口直甫(東京天文台)
 A46 気象庁データに基づく大気角運動量の計算: 内藤勲夫, 横山紘一(緯度観測所)
 A47 Comparison of Astrometric UT1R and Atmospheric Angular Momentum: T. Hara and K. Yokoyama
 (Int. Latit. Obs. Mizusawa)
 A48 Earth Orientation Parameters by Optical Astrometry: K. Yokoyama, K. Tanikawa, H. Ishii and I. Sato
 (Int. Latit. Obs. Mizusawa)

第2日 10月18日(木) 午後1時30分より 会場 A

- A49 PMC の高度目盛環の目盛補正值の決定: 宮本昌典, 鈴木駿策(東京天文台)
 A50 PMC の目盛環の目盛誤差の年周変化検出法: 石井 久(東京天文台)
 A51 PMC ドーム内の光路の異常屈折補正: 鈴木駿策, 宮本昌典, 桑原龍一郎(東京天文台)
 A52 PMC の赤緯観測の精度: 深谷力之助, 鈴木駿策, 宮本昌典(東京天文台)
 A53 Performance of Numerical Filter Method to Solve Normal Equations Appeared in TYCHO Astrometry:
 Masanori Yoshizawa (Tokyo Astronomical Observatory)
 A54 東京 PZT 星表の改訂: 新美幸夫, 酒井照夫, 藤井 繁(東京天文台)
 A55 VLBI 電波源位置カタログの系統差の要因: 中嶋浩一(一橋大)
 A56 位置天文学用電波星のデータベース: 藤下光身(緯度観測所)
 A57 新しい天体位置表: 福島登志夫, 井上圭典(水路部), 久保良雄(第三管区海上保安本部)
 A58 土星衛星の軌道改良(1971年の衝): 畑中至純(東京天文台)
 (休 憩)
 A59 短周期摂動の平面性: 仙石 新(水路部)
 A60 正準相対座標系の間接摂動項(II): 堀 源一郎(東大理)
 A61 ロストシティー隕石の永年摂動: 中井 宏, 木下 宙(東京天文台)
 A61 トロヤ群小惑星の永年摂動: 木下 宙, 中井 宏(東京天文台)
 A63 制限三体問題における衛星軌道の分岐: 谷川清隆(緯度観測所)
 A64 小惑星の軌道の安定性: 古在由秀(東京天文台)
 A65 惑星間塵の軌道分布: 向井 正(金沢工大)
 A66 彗星核の自転の検出: 渡部潤一(東大理)
 A67 彗星核周辺における氷粒子の凝縮: 山本哲生, 足原 修(宇宙研)

会場 B (2階中会議室)

第2日 10月18日(木) 午前9時15分より 会場 B

- B35 非断熱的非動径振動の漸近理論: 李 宇珉(東大理)
- B36 波の存在と回転プロフィールの安定性: 安藤裕康(東京天文台)
- B37 Mira 型変光星に対する高感度の SiO Maser 探索: 趙 世衡(東大理), 海部宣男, 浮田信治(東京天文台野辺山)
- B38 高温高密度星におけるニュートリノ損失: 宗像弘春(鶴見大), 神山泰治, 伊藤直紀(上智大理工)
- B39 高密度星物質の熱伝導率: 神山泰治, 松本憲幸, 関みどり, 伊藤直紀(上智大理工)
- B40 高温・高密度の状態方程式 (V): 荒井賢三, 上西啓祐(熊本大理)
- B41 超高密度物質の相転移と超新星爆発(III): 高原まり子, 佐藤勝彦(東大理)
- (休 憩)
- B42 He が降着する CO 白色矮星の定常モデル: 斉尾英行(東大理), 野本憲一(東大教養)
- B43 降着白色矮星のヘリウムフラッシュと NCO 反応: 橋本正章(早大理工研), 野本憲一(東大教養), 荒井賢三, 上西啓祐(熊本大理)
- B44 磁気乱流による α の値について II: 加藤正二, 堀内敏朗(京大理)
- B45 X線照射によるケプラー円盤の構造の変化: 竹内 峯(東北大理)
- B46 降着円盤上の transition wave (2): 嶺重 慎, 尾崎洋二(東大理)
- B47 矮新星 SU UMa 型のモデル: 尾崎洋二(マックスプランク研)
- B48 近接連星系におけるガス流の数値計算: 松田卓也, 蜂巢 泉(京大工), 沢田恵介(川崎重工)

第2日 10月18日(木) 午後1時30分より 会場 B

- B49 AM Her-型星の電気力学的同期化: 鎬木 修(東北大理)
- B50 パルサーに於ける空間電荷制限流: 柴田晋平(東北大理)
- B51 測光データに基づく SS 433 のモデル: 中田好一(東大理), 小平桂一(東京天文台)
- B52 X線星の時間変動の解析: 海野和三郎, 浦田健二(東大理), 正木 功, 米山忠興(東洋大), 近藤正明(専修大), 中野 徹(中大理工), 井上 一(宇宙研)
- B53 3次元数値計算における Apparent Horizon の決定法: 大原謙一(京大基研), 小鳥康史, 中村卓史(京大理)
- B54 磁束管の冷却による磁気浮力の中性化について: 吉村宏和(東大理)
- B55 マグネットグラフによる Faraday rotation の検出: 牧田 貢, 小矢野 久(東京天文台)
- B56 EUV 輝線の励起温度への weakening の影響: 神野光男, 船越康宏(飛驒天文台)
- B57 ネットワークとセルセンターの遷移領域の比較: 西川 宝(高山短大), 船越康宏, 神野光男(飛驒天文台)
- B58 放射状走査法でのミリ波太陽観測と「極冠」: 小杉健郎(東京天文台), 石黒正人(東京天文台野辺山), 柴崎清登(名大空電研)
- (休 憩)
- B59 ミリ波太陽の極冠増光: 柴崎清登(名大空電研), 石黒正人(東京天文台野辺山), 小杉健郎(東京天文台)
- B60 ダークフィラメント中の垂直方向速度場: 久保田 諄(花山天文台), 上杉 明(京大理)
- B61 活動領域紅炎の速度場: 川口市郎, 中井善寛(飛驒天文台)
- B62 Fast Disruption of an active prominence: K. S. Kim, I. Kawaguchi (Kyoto Univ.), N. Oda (Hyogo College of Medicine)
- B63 双極磁場浮上の際の磁気再結合と噴出紅炎の発生: 黒河宏企, 一本 潔(飛驒天文台)
- B64 Solar Cycle 21 におけるフレア発生頻度: 一本 潔(飛驒天文台), 久保田 諄(大阪経済大), 鈴木美好(四日市高), 當村一朗, 黒河宏企(飛驒天文台)
- B65 白色光フレアの観測: 日江井栄二郎, 名取 正, 宮沢正英, 山口喜助, 入江 誠(東京天文台)
- B66 ひのとりと SMM の X線タイミング: 鰐目信三(名大空電研), Kiplinger (NASA)
- B67 リムフレアにおける硬 X線源と電波源の同時観測: 高倉達雄(東大理), M. R. Kundu, D. McConnell (メラランド大), 大木健一郎(東京天文台)
- B68 X線フレアの温度特性: 田中捷雄(東京天文台), 秋田 亨(東大理)

会場 A (1 階大ホール)

第 3 日 10 月 19 日 (金) 午前 9 時 15 分より 会場 A

- A68 彗星の塵の尾の形と物質組成: 齊藤馨児 (東京天文台)
- A69 ベネット彗星 (1970 II) のイオン尾と太陽風: 冨田弘一郎, 齊藤馨児 (東京天文台)
- A70 Na を加えた SO₂ frost とイオの表面の色 (III): 稲吉 彰, 武部尚雄 (成蹊大工)
- A71 火星白雲による散乱太陽光強度分布: 鳴海泰典 (九州東海大工)
- A72 火星南極冠の縮小の年変化と黄雲の関係: 岩崎恭輔, 齊藤良一 (花山天文台), 赤羽徳英 (飛騨天文台)
- A73 表面粗さの Albedo に与える影響: 向井苑生, 向井 正 (金沢工大)
- A74 ロケットによる近赤外黄道光の観測: 秋葉 誠, 松本敏雄, 村上 浩 (名大理)
- (休 憩)
- A75 日米 VLBI システムレベル実験結果を用いた電波源の構造分析について: 国森裕生, 川口則幸 (電波研鹿島)
- A76 日米 VLBI システムレベル実験の基線解析結果: 小池国正, 高橋幸雄, 吉野泰造, 高橋富士信 (電波研鹿島)
- A77 45 m 電波望遠鏡による VLBI 研究: 平林 久, 井上 允, 岩下浩幸, 森本雅樹 (東京天文台野辺山), 坪井昌人 (東大理)
- A78 10 mφ 5 素子干渉計データ処理システム: 森田耕一郎, 石黒正人, 鈴木博子 (東京天文台野辺山), 小林秀行 (東大理), 川辺良平 (名大理)
- A79 10 mφ 5 素子干渉計の位相較正: 小林秀行 (東大理), 森田耕一郎, 石黒正人, 春日 隆, 神沢富雄, 岩下浩幸, 半田一幸, 高橋敏一, 鈴木博子 (東京天文台野辺山), 川辺良平 (名大理)
- A80 10 mφ 5 素子干渉計による Cyg-A の開口合成観測: 石黒正人, 森田耕一郎, 春日 隆, 神沢富雄, 岩下浩幸, 半田一幸, 高橋敏一, 鈴木博子 (東京天文台野辺山), 小林秀行 (東大理), 川辺良平 (名大理)
- A81 電波干渉計位相変動と大気パラメーター (1): 春日 隆, 石黒正人, 森田耕一郎, 神沢富雄, 岩下浩幸, 半田一幸, 高橋敏一, 鈴木博子 (東京天文台野辺山), 小林秀行 (東大理), 川辺良平 (名大理)

第 3 日 10 月 19 日 (金) 午後 1 時 30 分より 会場 A

- A82 広視野電波パトロール・カメラのデジタル化計画 (2): 大師堂経明, 遊馬邦之 (早大教育)
- A83 電波ホログラフイー鏡面測定実験と新装置: 田中春夫 (東洋大工), 石黒正人 (東京天文台野辺山)
- A84 ミリ波帯ジョセフソンミキサの試作: 石井孝一, 小平眞次, 中村 強 (木更津高専), 稲谷順司, 宮澤敬輔 (東京天文台野辺山), 加藤龍司 (宇都宮大教育)
- A85 チッ化ニオブ素子による SIS ミキサー: 稲谷順司, 春日 隆, 宮澤敬輔 (東京天文台野辺山), 東海林 彰 (電総研)
- A86 100 GHz 帯 SIS 受信器の開発: 奥山克郎 (山形大工), 小川英夫, 福井康雄 (名大理)
- A87 4 m 短ミリ波望遠鏡 (IX): 河鱈公昭, 小川英夫 (名大理)
- A88 通常銀河の電波強度データベースの作成: 田原博人, 加藤龍司, 齊藤 泉 (宇都宮大教育)
- A89 恒星データ検索システムの開発: 西村史朗 (東京天文台)
- A90 冷却 CCD によるスペクトル観測: 川上 肇, 田中 濟, 尾中 敬, 田辺俊彦 (東大理), 小平桂一, 乗本祐慈, 岡田隆史, 沖田喜一, 清水 実 (東京天文台)
- A91 GPS 衛星を用いた国際時計比較網: 松田 浩, 山崎利孝, 青木信仰, 藤原 清, 大塚富美子, 石崎秀晴, 福島美津広 (東京天文台)
- A92 GPS 時計比較からみた最近の各国の UTC: 山崎利孝, 藤原 清, 青木信仰 (東京天文台), 中島浩一 (一橋大)

会場 B (2階中会議室)

第3日 10月19日(金) 午前9時15分より 会場 B

- B69 35 GHz 電波バーストの経度分布: 小川英夫, 鈴木育郎, 河鱈公昭 (名大理)
- B70 太陽フレアの γ 線バーストと 35 GHz バースト: 鈴木育郎 (名大理)
- B71 太陽 μ 波バーストのミリ波領域スペクトル: 関口英昭, 小杉健郎, 澤 正樹 (東京天文台), 柴崎清登 (名大空電研)
- B72 Microwave and X-ray Observations of Delayed Brightenings at Sites Remote from the Primary Flare Locations: 中島 弘, 小杉健郎, 甲斐敬造 (東京天文台), B. R. Dennis (NASA/GSFC), P. Hoyng (Lab. for Space Research, Utrecht), G. Nelson (CSIRO, Australia)
- B73 硬X線フレアと太陽粒子: 新田就亮, 河野 毅 (理研), 大木健一郎 (東京天文台)
- B74 1984 April 25 フレアからのガンマ線とフレア粒子: 吉森正人 (立大理), E. Rieger (Max Planck Institut)
- B75 フレア粒子のコロナ伝ばん: 河野 毅, 新田就亮, 和田雅美 (理研), 須田友里 (気象研)
- (休 憩)
- B76 ブラックホール近傍の二温度降着円盤: 松元亮治, 加藤正二 (京大理), 福江 純 (大阪教育大)
- B77 ペアー・ウィンド, ペアー・ジェット: 福江 純 (大阪教育大)
- B78 アクリションプラズマ中の電子陽電子対: 高原文郎 (東京天文台野辺山), 楠瀬正昭 (東大理)
- B79 非定常な相対論的プラズマの電子-陽電子対: 楠瀬正昭 (東大理), 高原文郎 (東京天文台野辺山)
- B80 銀河面からの非熱粒子によるX線発生: 早川幸男 (名大理)
- B81 X線バースト時の中性子星水素層の膨張: 谷口雅信, 花輪知幸 (名大理)
- B82 低温中性子星での殻燃焼とバースト現象: 宮路茂樹 (千葉大教養), 野本憲一 (東大教養)

第3日 10月19日(金) 午後1時30分より 会場 B

- B83 X線バーストのスペクトル: 戎崎俊一 (東大理), 野本憲一 (東大教養)
- B84 中性子星の半径—X線バースト中の吸収線の解釈: 藤本正行 (新潟大教育)
- B85 '天馬' による Vela X-1 の星食の観測: 佐藤尚久, 早川幸男, 長瀬文昭 (名大理), 堂谷忠靖 (宇宙研)
- B86 Ariel-5/SAS-3/Hakucho によるX線連星 GX 301-2 の軌道決定: 長瀬文昭, 佐藤尚久 (名大理), 河合誠之 (宇宙研)
- B87 X線パルサー GX 301-2 のスペクトル: 河合誠之, 牧島一夫 (宇宙研), 天馬観測班
- B88 天馬による再起新星型X線源 (4U1630-47) の観測: 村上敏夫 (宇宙研), 天馬観測班
- B89 Cir-X-1 のスペクトル変化: 宮本重徳, 北本俊二 (阪大理), 牧島一夫 (宇宙研), 天馬観測班
- B90 宇宙X線源 CygX-3 のX線スペクトル: 北本俊二, 宮本重徳, 松井 渉 (阪大理), 天馬観測班
- B91 1984年のラビッド・バースターのX線観測: 田原 譲 (名大理), 天馬観測班 (宇宙研, 阪大理)
- B92 オリオン星雲からのX線輻射: 小山勝二 (宇宙研)
- B93 てんまによる超新星残骸の観測: 常深 博, 山下広順 (阪大理), 天馬観測班
- B94 Radio Galaxy Cen A のスペクトル観測: 平野辰巳, 長瀬文昭, 佐藤尚久 (名大理), 王波寄 (宇宙研)
- B95 "てんま" による銀河団の観測: 奥村由治, 山下広順, 常深 博 (阪大理), 天馬観測班